

NiKKi Fron 株式会社

所在地：長野県長野市穂保 409-2
連絡先：026-296-9031
担当者名：管理本部人事課 採用担当
担当者メール：kanri-somu@nikkifron.com
HPアドレス：https://www.nikkifron.com/

1. 企業としての特長

当社NiKKi Fron株式会社は、1896年に長野市善光寺のお膝元で麻問屋として創業しました。その後、麻と絹を材料としたパッキング材を、上田蚕糸専門学校(現 信州大学繊維学部)との産学官連携により発明したことをきっかけに、1944年に商業から工業への転換を図り、現在の会社組織を設立致しました。従いまして創業からの歴史は120年を越えます。現在は、半導体産業、医薬品産業、自動車産業の分野にフッ素樹脂や繊維強化プラスチックといった最先端の素材や加工部品、そして機械装置を提供するメーカーに成長致しました。活動拠点も本社長野以外に国内では東京に営業所、滋賀に工場、そして海外ではタイに工場、ベトナムに販売拠点を構え、グローバル競争に打ち克てる「技術ブランド NiKKi Fron」を目指して日々取り組んでいます。

2. 今後力を入れたい事業

今後継続した需要拡大が見込まれる半導体、医薬品製造の市場に对应していくために、フッ素樹脂の設計・製造・販売事業をより強化していきます。特にICT対応の最新鋭設備を活用した、遠隔操作、自動化、ロボット化といった新たな生産体制の構築に取り組み、市場の需要に柔軟に 대응する力を高めます。

変化する世界情勢の中で、強固な製品供給体制を確立することで、豊かな生活の下支えや社会貢献を目指して参ります。

当社が長年培ったものづくりの技術の継承しつつ、最新鋭設備を用いた従来にはない生産体制、仕組みを構築すること。また海外での生産ライン立ち上げ、販路拡大に興味がある方にも活躍して頂けると考えています。

- こんな人にオススメ …… システムづくりが好きな人
- こんな人が向いている …… もちろん「モノづくり」も好きな人であれば、もってこい！

3. 選考のポイント

①学校でどんな勉強をしてきたのか ②勉強以外で力を入れてきたこと ③コミュニケーション能力など ④人間性など ⑤その他	機械工学、材料工学、ロボット工学、システム工学、情報工学、数理系の方 モノづくり、分析業務に興味がある方 積極的にコミュニケーションが取れる方
---	---

4. 採用予定数

■新卒採用予定数

文系	若干名
理系	若干名
その他	一名
「その他」の内訳	

■給与・福利厚生

○休日・休暇	年間休日 115日 (週休2日を基本、会社カレンダーによる) 年末・年始休暇あり
○給与	修士 223,000円 大卒 206,000円 短大・専門学校(2年制)卒 184,000円 *上記に精勤手当 月額3,000円を含む

5. 業務形態

■主に募集したい部署の「1日のスケジュール」※おおよそ

○始業～お昼まで	予定と業務の進捗を課内で共有。試作、成形立ち合い
○昼～15:00まで	課内ミーティング
○15:00から終業まで	試作品の測定、評価、データまとめ

■テレワークの導入について

①すでに導入している ②今後導入を計画している ③今後一部業務に導入を計画 ④導入の予定はない	①(間接部門での実績あり)
--	---------------

■業務のオンライン化について

①すでに導入している ②今後導入を計画している ③今後一部業務に導入を計画 ④導入の予定はない	①
--	---

6. 若手先輩からのメッセージ

昔からモノをつくる事が好きだった事と学校で複合材の研究をしていたので、製造メーカーの技術職に就きたいと考えていたなかで NiKKi Fron を志望した理由は、入社後早いうちから様々な仕事にチャレンジできるということを知り、自分の知識や技術の向上、成長につながると思い入社いたしました。
入社後は先輩方にサポートいただき、自分では困難としていた仕事にチャレンジし、生産性の向上や原価低減などで成果を上げることができ、やりがいを感じております。

7. 人事担当からのメッセージ

「工学＝考学＝行学」、つまり、考える事が好きな方、さらには考えるだけではなく、考えた事を実行できる方が魅力ある人材と考えております。もちろんそこには「トライ＆エラー」はつきものです。失敗しても、その失敗に改善を加え、次のトライができる人材を大切に育てていきたいです。

8. 過去3年間の業績

■売上高

2020年	(被災により参考にならず)
2021年	68億円
2022年	80億円

■営業利益

2020年	—
2021年	—
2022年	—

■経常利益

2020年	—
2021年	—
2022年	—

■純利益

2020年	—
2021年	—
2022年	—

■過去3年間の業績についてのコメント

2019年10月の台風19号による千曲川決壊により、2019年度、2020年度の売上は半減しています。

ただし、国や自治体の補助金制度等を使い、2020年10月には全面的に復旧が完了しています。これにより従来の機能を取り戻すと共に、新たな創成活動を行い、2022年度は被災前以上の売上実績となっております。

■自己資本比率

— %